下田メディカルセンター広報誌

下田MCレター

2022.5.1 発行

vol.27

11年目のスタートにあたり～理事長よりご挨拶～

検査共同利用のご案内

新入職医師のご紹介

11年目のスタートにあたり

お陰様で、下田MCは本年4月1日、無事11年目のスタートを切ることが出来ました。これもひとえに本レターをご覧頂いている地元医療関係の皆様、並びに静岡県、一部事務組合の皆様等々、多くの関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

思い起こせば、当センターは南伊豆町の湊地区から移転し、下田南高校の跡地に開設致しました。少子高齢化の波は、全国的に教育の場を医療・介護の場へと代えつつありますが、当センターもその例外ではありませんでした。移転当初は医師を始めとする人材の確保に難渋し、救急医療等で皆様には多大なるご迷惑をおかけ致しました。勿論、現在でも十分とは言えませんが、当時に比べると診療体制は徐々に改善されつつあり、その証左に救急、入院及び手術患者数は年々増えつつあります（コロナ禍の影響を除く）。

しかしながら、賀茂医療圏の少子高齢化と人口減少は、今後とも着実に進行することが予測されます。そのため、今後は地域の医療ニーズの変遷に応じた病床機能の見直しや人材確保が必要となります。

過疎化の進行と半島先端という特殊環境での医療は、更なる困難が予測されますが、皆様との機能連携強化を賜りつつ尽力して参りますので、引き続きのご指導並びにご支援を宜しくお願い申し上げます。

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 理事長　**杉原 弘晃**

外来・発熱外来

新型コロナ感染症は、2019年に中国武漢で新型コロナウイルス（SARS-CoV2）による肺炎患者の集団発生が報告され、その後世界的パンデミックとなり3年目を迎えました。2021年度の当初は散発的な発生でありましたが、第5、6波の大きなピークもあり賀茂地区でも多くのクラスターが発生し、感染者が爆発的に増加しました。第5波までは活動的な年齢層や高齢者の感染者が多く見られましたが、第6波では学童や乳幼児の感染者が急増しました。

当院は県の感染症指定病院であり、賀茂地区の新型コロナ感染症対応の中心的病院として発熱外来を開設し多くの患者を受け入れ、2021年度は390人余りの陽性患者が確認されました。第5波前は、発熱患者は発熱ブースでの対応を行っていましたが、第5波以降は屋外で救急外来裏と小児科救急入口に、それぞれ9台、8台分の駐車場を確保してドライブスルー方式で患者を受け入れています。車内で検体を採取し迅速抗原定量検査を行い、陽性患者は帰接外来で感染対応医師と看護師で診療を行っています。軽症者も多く発熱がなくても咽頭違和感、頭痛、鼻汁などの症状の患者も発熱外来でトリアージを行い、軽微な症状の患者からも陽性者が発生しています。ウィルスもオミクロンBA1からBA2に置き換わりつつあり感染力も強くなっており、また新たな変異株出現の可能性もあり、2022年度も新型コロナ感染症の動向に注視する必要があります。

今後も感染症指定病院の役割を果すためにも、スタッフの感染予防対策を確実に行い発熱外来の運営をしていきます。

下田メディカルセンター 総務課

総務とは組織全体に関する事務を扱う部署で、別の部署で扱わない仕事は大体総務の仕事になります。電話の応対に始まり、文書や備品管理、職員の人事・労務・福利厚生に関すること、施設・医療機器等の維持管理、医薬品や診療材料の購入に関することなど、挙げていったら切りがありません。そんな多種多様な業務を行うため、総務課員にはマルチタスク能力が求められます。いくつもの業務を同時進行で処理していく上での重要なファクターですし、また物事を俯瞰的に見て判断できる能力も必要となってきます。当然、様々な分野での幅広い知識も必要とされ、専門職が集まる病院にあって唯一のジェネラリストと言えるでしょう。

そんな総務課では近年、新型コロナウイルスへの対応に追われてきました。感染防止対策のための備品購入や設置、院内導線の確保のための院内サインや看板の作成、助成金の申請、保健所や看護部との調整、忘年会・新年会などに替わる福利厚生の実施など、、、どのような場合でも職員の立場に立ち、職員が定着・活躍できる環境を整えるのが総務課の役目であると思っています。

定量的な業務がなく生産性の無い部署ですが、コスト削減、業務効率化を目標に今後も「裏方」として病院を、職員を支えていきます。

放射線技術科 検査共同利用のご案内

下田メディカルセンターでは、地域医療機関の先生方にも幅広く当院の高機能検査機器を、ご利用いただけるよう、検査共同利用の予約を承っております。

利用できる放射線画像検査

- 胸部X線撮影検査
- CT検査（単純・造影）
- MRI検査（単純・造影）
- 骨塩定量検査
- マンモグラフィー検査

検査利用の流れ

❶ 地域医療連携室にて検査予約

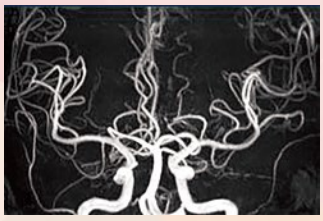
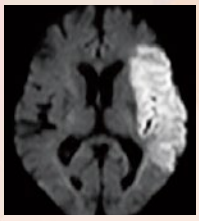
必要事項を記入の上、地域連携室へFAXを送付して下さい。
（検査共同利用依頼書についてはホームページより印刷できます。）

※造影検査を希望の場合は1ヶ月以内の採血結果、ご依頼頂いた医師の同意書へのサインが必要となります。

❷ FAXを受信しましたら、予約を取得し予約票を返信致します。

❸ 検査後

読影希望がない場合は、当日患者様へ検査結果、撮影した画像をCD-Rに書き込みお渡し致します。読影希望の場合は、通常1～2週間程度で読影が済み次第郵送致します。

ご不明な点ありましたら、当院地域医療連携室にお気軽にご相談ください。

地域医療連携室 ☎0558-25-3535

新入職医師紹介

小神野（おがみの）　優（ゆう）

内科 常勤医師

経　歴

1999年 千葉大学医学部卒業
2000年代は与論徳洲会病院など、奄美地方の病院でも勤務（一般内科・総合内科）
2010年代前半は北海道や千葉で勤務（一般内科および心療内科）
2015年 済生会平塚病院（現・湘南平塚病院）一般内科
2018年 熊本県天草市立牛深市民病院 総合内科

趣　味 旅行（コロナ禍で中断中）、ギター、ドライブ、風景写真など

自己紹介 難しい苗字ですが「お・が・み・の」です。
主に一般内科で九州～北海道まで全国で働いて来ました。微力ですが皆さんのお役に立てるように頑張ります。

尾崎（おざき）　友香（ゆうか）

内科 常勤医師

経　歴

2019年 自治医科大学卒業
2019年 静岡県立総合病院 初期臨床研修
2021年 西伊豆健育会病院 内科

趣　味 食べる事

自己紹介 はじめまして。昨年までは西伊豆地区の病院に勤めておりました、当院でも内科の診療を勤めます。まだまだ若輩者ではありますが、下田の皆様に寄り添った医療ができるように頑張りますので、どんな小さなことや些細なことでも相談していただけたら嬉しいです。皆様の力になれるよう、協力させていただきます。よろしくお願いします。

退職常勤医師（令和4年3月）

- ●脳神経外科　畑田 淳一 先生
- ●内科　吉田 貴光 先生
- ●眼科　堀田 陽介 先生
- ●内科　丸山 裕司 先生

褥瘡（じょくそう）対策委員会の活動について

褥瘡（じょくそう）という言葉を聞いたことがありますか？褥瘡は「床ずれ」とも呼ばれ、寝たきりなど体が動かせない状態で圧迫が加わり、皮膚の血流が滞ることによって生じる皮膚病変（きず）のことをいいます。褥瘡は圧迫を受けやすいおしりや背中、かかとなどに発生することが多く、皮膚の赤みや皮むけ、ひどくなると潰瘍や感染を起こすこともあります。褥瘡はきずの処置だけでは治りにくいため、圧迫を減らすためのマットレスの使用や体位交換、栄養状態の改善を行い、予防や治療を進めていくことが大切になります。入院する患者様は病状や治療により褥瘡ができやすい状態になったり、入院前に褥瘡ができたりしていることもあります。

褥瘡対策委員会では、入院中や退院後の生活で褥瘡ができないよう、できていても早くよくなるように、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師で協働しながら活動を行っています。主な活動は、褥瘡回診、症例検討や勉強会の企画・開催です。体圧分散マットレスやポジショニングクッションの使用により、よりよい療養環境となるよう、物品の整備を行い、褥瘡ケアの質の向上に努めています。定期的に委員会を開催し、ケアや処置の見直しを行っています。栄養状態の悪い患者様に対しては、医師、管理栄養士と連携し、食べやすい食事形態の検討や、栄養価の高い補助食（ゼリーや、ジュース）の提供を行い、栄養状態が改善できるよう努めています。

編集後記

ご自身の異動・転勤や、ご家族の卒業など、新生活が始まった方も多いかと存じます。今年度より部署移動となった私は慣れない仕事に未だにバタバタした毎日を過ごしております。初めての事であり至らない点もあったかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございました。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

発行
下田メディカルセンター
〒415-0026　静岡県下田市6丁目4-10
TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050
http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/
発行責任者 地域医療連携室長 浅野 好章

アクセス 伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。

SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE
医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)
〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)
〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)
〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター
(今里クリニック・介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)
〒243-0423
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号
TEL.046-232-0606